

CSR 認定制度 第 1 期 40 社を認定

全日本印刷工業組合連合会（以下、全印工連）は、本年 6 月 25 日の CSR 認定委員会において、第 1 期となる 40 社をワンスター認定企業として認定した。

全印工連では、昨年度より会員企業の CSR 推進事業を展開、普及啓発の一環として今年度より認定制度をスタート。第 1 期は 2 月～4 月の応募期間に 42 社が申請し、40 社が審査機関である横浜市立大学 CSR センター（影山摩子弥センター長）の審査を通過し、外部の有識者で構成される認定委員会において認定された。業界団体での CSR 認定制度の創設は日本初と見られる。

同制度は全印工連 CSR 推進専門委員会（池田幸寛委員長）が横浜市立大 CSR センターと共同で制度設計を担当した。従業員数 20 名以下の企業が 75% を占める全印工連において、小規模企業にも取り組みやすいように、CSR を体系的にまとめたガイドラインに基づいて申請のためのチェックリストを策定。ガイドラインでは中小印刷業の特質を踏まえ、①コンプライアンス、②環境、③情報セキュリティ、④品質、⑤雇用・労働安全、⑥財務・業績、⑦社会貢献・地域指向、⑧情報開示・コミュニケーションという 8 つの領域に分けて、各項目において必要とされる取り組みをチェックリスト形式で列举している。

全印工連では、年 4 回認定募集を行い、2 期は 9 月、3 期は 12 月、4 期は 3 月に認定を行う。

全印工連 CSR 認定制度とは・・・

CSR（企業の社会的責任）の重要性が叫ばれる中、取り組みが難しいとされる中小企業でも、自ら襟を正し、ステークホルダーから信頼される企業になるべく努力すべきとの認識から、2010 年に青年部組織である全国青年印刷人協議会（全青協）で調査・研究事業を開始、2013 年度より認定制度としてスタートした。

CSR 認定企業は、自社の名刺、会社案内、ホームページに CSR マーク（右図参照）を表示できるほか、顧客の印刷製品にも CSR マークを表示して CSR に取り組む印刷会社が製作した印刷製品であることをアピールすることができる。

審査機関：横浜市立大学 CSR センター

認定委員：広告業界、紙卸業界、印刷機械業界、シンクタンク、他業界の地域貢献認定企業経営者など外部の CSR の専門家を中心に、オブザーバーとして経済産業省を招き認定委員会を開催し、横浜市立大学 CSR センターの審査報告をもとに認定を行う。）



ワンスター認定マーク



ツースター認定マーク



スリースター認定マーク

【問合せ先】

全日本印刷工業組合連合会 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 4 階
TEL 03-3552-4571 FAX 03-3552-7727 E-mail csr@aj-pia.or.jp

1. CSR 認定制度 第1期 40 社（認定番号・企業名・所在地）

認定番号	企業名	所在地
00001	(株)金羊社	東京都大田区鶴の木 2 丁目 8-4
00002	(株)東北プリント	宮城県仙台市青葉区立町 24-24
00003	池田印刷(株)	東京都品川区西五反田 6-5-34
00004	(株)ヒロミ産業	北海道札幌市西区発寒 14 条 2 丁目 2-21
00005	第一共同印刷(株)	富山県富山市太郎丸西町 2-6-11
00006	大同印刷(株)	東京都江東区福住 1 丁目 9-7
00007	新日本印刷(株)	愛知県名古屋市天白区中砂町 496
00008	(株)太陽堂印刷所	千葉県千葉市中央区末広 1-4-27
00009	(株)ダイム	大阪府吹田市江坂町 2-6-5
00010	(株)プリプレス・センター	北海道札幌市中央区南 2 条西 10 丁目 5-3
00011	六三グループ	東京都江東区潮見 2-4-18
00012	(株)賢工製版	東京都品川区東品川 5-6-15
00013	(株)アイテックサプライ	北海道札幌市東区北 10 条東 2 丁目 13-8
00014	亜細亜印刷(株)	長野県長野市大字三輪荒屋 1154
00015	中村印刷(株)	北海道旭川市 10 条通 23 丁目 1-10
00016	(株)きうちいんさつ	静岡県富士宮市舞々木町 70
00017	(株)第一印刷所	新潟県新潟市中央区和合町 2-4-18
00018	秋田印刷製本(株)	秋田県秋田市御所野湯本 2-1-9
00019	船場印刷(株)	兵庫県姫路市定元町 4 番地の 2
00020	朝日精版印刷(株)	広島県広島市西区商工センター 7 丁目 5-52
00021	(株)日進堂印刷所	福島県福島市庄野字柿場 1-1
00022	(株)ミヤプロ	香川県高松市朝日新町 16-19
00023	(株)正文舎	北海道札幌市白石区菊水 2 条 1 丁目 4-27
00024	北陽ビジネスフォーム(株)	北海道札幌市東区伏古 8 条 2 丁目 2-21
00025	(株)ユーメディア	宮城県仙台市若林区六丁の目西町 6 番 5 号
00026	(株)協進印刷	神奈川県横浜市神奈川区大口仲町 108 番地
00027	(株)大川印刷	神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2053
00028	システム印刷(株)	東京都日野市高幡 1012-13
00029	(株)ウエマツ	東京都豊島区南長崎 3-34-13
00030	(株)白橋	東京都中央区八丁堀 4-4-1
00031	文唱堂印刷(株)	東京都荒川区町屋 8-22-10
00032	(株)マルワ	愛知県名古屋市天白区平針 4-211
00033	交友印刷(株)	兵庫県神戸市中央区港島南町 5 丁目 4-5
00034	丸山印刷(株)	兵庫県高砂市神爪 1-11-33
00035	(株)天理時報社	奈良県天理市稲葉町 80 番地
00036	(株)岐阜文芸社	岐阜県岐阜市三輪ふりとぴあ 13 番地 1
00037	アインズ(株)	滋賀県蒲生郡竜王町鏡 2291 番地 3
00038	朝日印刷(株)	富山県富山市大手町 3-9
00039	(株)二和印刷紙業	愛知県名古屋市北区五反田町 248
00040	(株)和歌山印刷所	和歌山県和歌山市狐島 609-9

※認定番号は申請書の受付順。

※認定日は平成 25 年 6 月 25 日。認定有効期限は平成 27 年 6 月 30 日。

2. CSR 認定制度 第1期 40 社（工組別・規模別等）

第1期認定企業 40 社の工組別及び従業員規模別の内訳は、表1・表2にあるとおり、工組別では、東京都印刷工業組合が9社と最も多く、続いて北海道印刷工業組合が6社、愛知県印刷工業組合及び兵庫県印刷工業組合がともに3社と続き、全国各地から認定申請が行われた。企業規模別の内訳では、従業員数100～199人の企業が9社と最も多く、1～9人の企業や300人を超える企業からも申請が行われるなど、企業規模にかかわらず、CSRへの意識の高さが伺えた。

（表1）第1期認定企業（工組別）

地区名	工組名	社数
北海道	北海道工組	6社
東 北	宮城工組	2社
	秋田工組	1社
	福島工組	1社
関 東	千葉工組	1社
	神奈川工組	2社
	新潟工組	1社
	長野工組	1社
	静岡工組	1社
東 京	東京工組	9社
中 部	愛知工組	3社
	岐阜工組	1社
	富山工組	2社
近 畿	滋賀工組	1社
	大阪工組	1社
	兵庫工組	3社
	奈良工組	1社
	和歌山工組	1社
中 国	広島工組	1社
四 国	香川工組	1社
合 計		40社

（表2）第1期認定企業（規模別）

従業員規模	社数
1～9人	1社
10～19人	3社
20～29人	6社
30～39人	6社
40～49人	5社
50～99人	6社
100～199人	9社
200～299人	3社
300人以上	1社
合 計	40社

なお、第1期40社が「CSR 取り組み項目チェックリスト」（全印工連ホームページ公開中）の8分野のCSR項目のうち取り組みの多かった項目は、次のとおりであった。

① コンプライアンス

「(1.1) 法令遵守」、「(1.2) 納税している（税金の未納がない）」、「(1.3) 過去3年以内に法規制などにより行政処分を受けた実績がない」の必須3項目では、40社すべての企業で取り組んでおり、続いて「(1.4) 知的財産権などの権利関係を説明する窓口がある」、「(1.5) 法務に関する窓口がある」がともに9社であった。

② 環境

「(2.10) その他注目すべき取組み」が31社と最も多く、続いて「(2.1) G P 認定を取得している」が25社、「(2.5) 環境配慮製品の製造または販売を推進している」が22社、「(2.8) 地域の環境活動に参加している」が21社、「(2.2) ISO14001 を取得している」が17社と続いた。

③ 情報セキュリティ

「(3.7) 守秘義務規程、機密保持規定がある」が 35 社と最も多く、続いて「(3.6) 情報セキュリティに関する窓口がある」が 34 社、「(3.1) Pマーク、ISMS 等の認証を取得している」及び「(3.4) 厳重な文書管理が見られる」がともに 28 社、「(3.9) その他注目すべき取組み」が 27 社と続いた。

④ 品質

「(4.7) その他注目すべき取組み」が 30 社と最も多く、続いて「(4.2) 高齢者対応の製品・サービスを行っている」及び「(4.4) 障害者対応の製品・サービスを行っている」がともに 21 社、「(4.3) 健康や安全に配慮した製品・サービスを行っている」が 19 社、「(4.1) 関連の認証や認定を取得している (ISO9001 等)」、「(4.5) QC、TQC 活動を行っている」がともに 18 社と続いた。

⑤ 雇用・労働安全

「(5.3) 20 年存立」が 39 社と最も多く、続いて「(5.6) 出産育児支援制度がある」及び「(5.19) 過去 3 年間、会社都合による退職がない」がともに 31 社、「(5.5) 介護支援制度がある」が 30 社、「(5.20) 就業規則等の規程類が定期的に見直されている」が 26 社と続いた。

⑥ 財務・業績

「(6.10) 受注販売管理システム (MIS 等) を導入している」が 32 社と最も多く、続いて「(6.6) 発生主義月次決算をしている」及び「(6.7) 外部専門家 (財務コンサルタント等) と契約している」がともに 28 社、「(6.5) 每期予算を作成している」が 23 社と続いた。

⑦ 社会貢献・地域志向

「(7.7) 地域に寄付をしている」が 36 社と最も多く、続いて「(7.9) 会社見学、工場見学を積極的に受け入れている」が 32 社、「(7.10) インターンシップを受け入れている」が 28 社、「(7.6) 会社としてボランティア活動をしている」が 23 社と続いた。

⑧ 情報開示・コミュニケーション

「(8.8) 情報開示を積極的に行っている。」が 34 社と最も多く、続いて「(8.3) 顧客対応専門の窓口を設置している」が 32 社、「(8.10) その他注目すべき取組み」が 27 社、「(8.4) 顧客対応専門の担当者を配置している」が 25 社、「(8.6) 外部委託先の評価をしている」が 24 社と続いた。

3. 全印工連「CSR プレス発表」開催

CSR への関心が高まる中、6 月 25 日 (火)、東京・日本印刷会館において、プレス発表を開催した。島村会長、池田 CSR 推進専門委員長、鍋島 CSR 認定委員長 (㈱朝日オリコミ・マーケティング本部長付アドバイザー)、影山 CSR センター長 (横浜市立大学 CSR センター・横浜市立大学国際総合科学学術院教授) が出席し、第 1 期認定企業の公表、CSR センターによる審査結果の総評等が行われ、YAHOO ニュース (下記 URL) でも取り上げられた。

http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20130625-00000305-alterna-bus_all



CSR プレス発表の様様



第 1 期認定審査の総評を行う影山教授